



30予防第457号
平成30年8月1日

一般社団法人東京建設業協会
会長 飯塚 恒生 様

東京消防庁
予防部長 山本 豊



建築工事現場における火災予防対策の徹底について（依頼）

平素より、消防行政に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
先般、東京都多摩市の新築工事中の建物において、工事作業員5名が死亡、42名が負傷する大規模な火災が発生しました。

火災概要については別紙のとおりですが、地下3階でバーナーを使用中に可燃物に着火し出火したと報道されているところです。建築工事現場では、出火防止はもとより、万一出火した場合の確実な避難など人命安全に万全を期する必要があるところですが、今回、大きな被害となったことは誠に憂慮される事態です。

つきましては、同種の火災発生の防止について、万全を期してくださいますようお願い申し上げますとともに、貴協会の会員各社の方々に、下記の火災予防対策の再徹底について周知していただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

1 火災予防対策の徹底

別添えのリーフレットを活用し、次の3点を最重点とした新築工事中の火災予防対策の徹底を図ってください。

- (1) 出火防止対策の徹底
- (2) 避難経路の確保
- (3) 工事作業員に対する遵守事項及び避難経路の周知徹底

2 消防計画の再確認

消防計画を作成している新築工事中の建物については、当該計画を再確認し、防火管理を徹底してください。

3 その他

本年8月末までを目途に、新築の工事中で、地階を有する建物及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設に対し、当庁職員により、別添えのリーフレットを活用した防火安全指導を実施しておりますので、ご協力願います。

問合せ先

防火管理課指導係 後藤 鈴木
電話 03-3212-2111 内線 5122 5125
予防課建築係 坂本 大岩
電話 03-3212-2111 内線 4742 4747

別紙

火災概要

平成30年7月27日現在

1 覚知日時

平成30年7月26日（木） 13時52分（119）

2 出火場所

- (1) 所 在 多摩市唐木田一丁目22番1号
- (2) 名 称 (仮称) 多摩テクノロジービルディング
- (3) 構造・階層 耐火造 地下3階 地上3階
- (4) 用 途 新築工事中の建築物
- (5) 建築面積 5,358.626 m²
- (6) 延べ面積 17,666.893 m²

3 焼損

焼損床面積 400 m² (地下2階及び3階)

免震ピット部分天井断熱材 5,000 m²

4 死傷者

死者5名、傷者42名

5 出火原因

調査中

6 届出等

消防法第8条に規定する防火管理者の選任及び新築工事中の消防計画の届出がされ、
消防計画に基づき、自衛消防訓練が行われていた。

新築工事現場の火災で多数の死傷者発生！

緊急

なくそう！工事現場からの火災

平成30年7月26日、多摩市内の新築工事現場において大規模な火災が発生し、多数の死傷者が発生しました。

建物工事（解体など新築以外も含む）に関連した火災は、東京消防庁管内で毎年約100件発生しています。主な出火原因として、溶接や溶断作業による火花の飛散や作業員等の喫煙の不始末、夜間施錠されていない工事現場への放火などがあげられます。同種の火災を起こさないように次の対策を徹底し、火災予防の万全を図っていただくようお願いします。



★工事現場の主な出火原因★

作業区分別	1位 溶接・溶断作業	2位 電気作業
作業関係以外	1位 放火	2位 たばこ



●工事中の火災予防対策（今すぐチェック✓！）

火気を使用する際は、付近に可燃物がないことを確認



火気周囲を不燃性シート等で遮へい、消火器等の準備



避難経路となる付近に物品等を置かない



喫煙は決められた場所で行うことの徹底



塗料等の危険物は必ず保管庫で保管



工事開始、終了時の入室者の確実な把握と施錠



★工事中の防火管理については、東京消防庁ホームページも併せてご覧ください。

（トップページ→安全・安心情報→事業所アドバイス・工事中の防火管理）

東京消防 検索 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

問合せ先

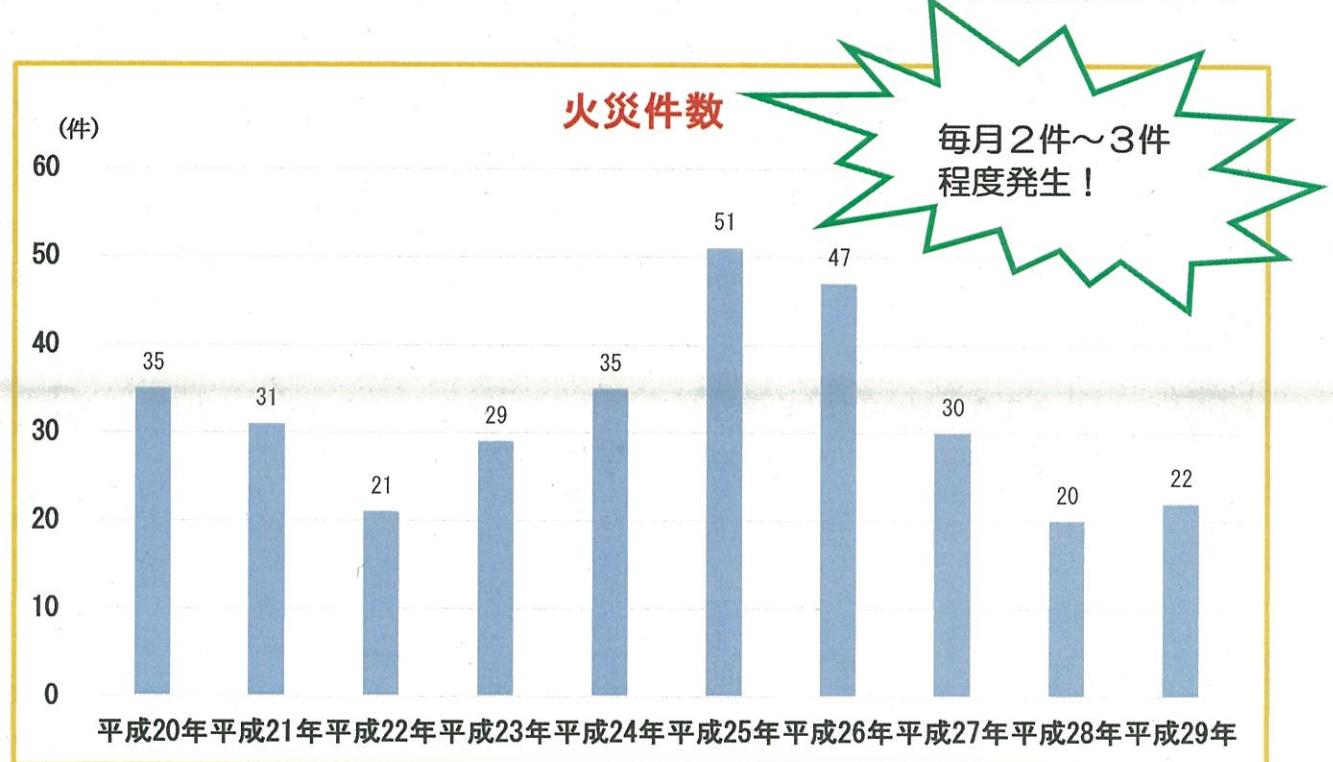
○東京消防庁予防部防火管理課
電話 03-3212-2111（代）

○管轄消防署

左記の東京消防庁ホームページをご覧ください。

最近10年間の新築工事現場の火災発生状況

(東京消防庁管内)



※ 平成30年7月27日現在、すでに15件発生しています

工事の作業区分別火災状況 (放火等を除く)

